

様式第5号（第4条関係）

政務活動費使用計画書

令和7年3月26日

（宛名）久慈市議会議長

会派名 政風会

代表者名 小柳正人



政務活動費の交付に関する条例第7条の規定により、次のとおり提出します。

使 途	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和7年3月28日				
実施場所	岩手県花巻市「おもちゃ美術館」～遠野市「こども本の森遠野」				
参加者名	小柳正人、小倉利之、清水崇文、畑中勇吉、佐々木栄幸、大沢俊光				
予算額	63,650万円				
内 容	<p>○岩手県花巻市「花巻おもちゃ美術館」</p> <p>木育といわれる昨今、岩手県産材をふんだんに使った体験型木育施設「花巻おもちゃ美術館」は、子どもから高齢者まで「木」のぬくもりと文化に接しながら「おもちゃ」と「遊び」で花巻の文化と豊富な自然を体験できる。近年檜枯れ病や松くい虫で森林資源の保護が危惧されるなか、当施設の木育を通して森林資源の大切さを見直す施設として参考となる。2020年7月マルカンビル2階をリノベーションしてオープンした施設であり、空き家の再利用施設としても参考となる民間施設である。</p> <p>○岩手県遠野市「こども本の森遠野」</p> <p>子どもから大人までジックリと本に向き合える空間を醸し出しており本市YOMUNOSUでも参考となる施設である。</p> <p>「こども本の森遠野」の選書、ブックディレクター^{はばよし}幅允^{たか}孝さん（早稲田大学文化構想学部）や建築家安藤忠雄さん</p>				

	<p>や、名誉館長「若竹千佐子」さん（芥川賞作家）にも触れることができる。</p> <p>この2施設は書籍のみならず岩手、花巻、遠野を舞台にした体験型蔵書であり興味深い。</p>
行 程	<p>【日程】</p> <p>別紙のとおり。</p> <p>なお、移動は三河交通マイクロバスを利用</p>

